

事務事業評価表(令和3年度)

Header table with columns: 事業コード (662), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for overall status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	672	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	----	----	----

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	街路灯の新設及び維持管理		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・道路課		
	③事業主体	●市 ○その他 ( )			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	平成31年度 ~			⑥担当職員数	5人 (換算人数)		0.6人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	76,227千円		当該(開始)年度	(当初)	68,523千円 (うち人件費 5,340千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全で快適に通行できるよう、道路用地と道路施設の適切な管理や効率的・効果的な維持補修を行います。			事業目的	街路灯の不具合を補修し、車両・歩行者の安全を確保する。また、安全上必要と思われる箇所に新規街路灯の設置を行う。					
(3) 事業内容	内容	パトロール及び市民からの通報等で発見された街路灯の不具合を補修するとともに、必要箇所に新規設置を行う。所有する街路灯が全てLED化されている自治会に対しては、所有権を市に移管し、市で電気代や修繕等の維持管理を行っていく。			当該年度執行計画	発見された街路灯の不具合を随時補修依頼を行う。新規設置箇所については、現地確認を行い対処する。自治会が所有する街路灯については、自治会からの申し出を受け、移管要因が整っている物については、東京電力との事前確認・協議、自治会への周知・同意等を行い、随時移管を受けていく。久寺家商店会が維持管理負担軽減により撤去する商店会街路灯(4基)について、代替として久寺家通り一帯に街路灯を電柱共架で23灯、ポール建柱による設置で3灯を新規設置する。					
		当該年度活動結果指標	街路灯補修率 (街路灯補修件数/街路灯補修依頼件数)	単位	%	想定値	100		実績値		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	発見された街路灯の不具合を随時補修する。				直接	街路灯補修率 (街路灯補修件数/街路灯補修依頼件数)		%	0	100	
令和4年度	発見された街路灯の不具合を随時補修する。				直接	街路灯補修率 (街路灯補修件数/街路灯補修依頼件数)		%		100	
令和5年度	発見された街路灯の不具合を随時補修する。				直接	街路灯補修率 (街路灯補修件数/街路灯補修依頼件数)		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応	実態として市管理LED街路灯でも様々な現象(落雷による異常電圧、「自動点滅器」の故障(光感知部の汚れ)による昼間点灯状態、台風による塩害等)が起因して、耐用期間(照明持続時間約4000時間、約8~10年)内での故障が発生している。自治会管理LED灯の市への移管は、必然的に管理灯数も増大することから、修繕に要する費用も多額になることが想定される。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		街路灯電気料	37,598	街路灯電気料	33,223	街路灯電気料	33,223	街路灯電気料	33,223		
		街路灯補修費	5,321	街路灯補修費	9,280	街路灯補修費	9,280	街路灯補修費	9,280		
		街路灯設置工事費	2,999	街路灯設置工事費	3,665	街路灯設置工事費	3,665	街路灯設置工事費	3,665		
LED街路灯賃借料	14,218	LED街路灯賃借料	14,218	LED街路灯賃借料	14,218	LED街路灯賃借料	14,218				
(債務負担28年~37年)		(債務負担平成28年~令和7年)		(債務負担平成28年~令和7年)		(債務負担平成28年~令和7年)					
自治会所有街路灯移管準備及び手続	0	自治会所有街路灯移管準備及び手続	0	自治会所有街路灯移管準備及び手続	0	自治会所有街路灯移管準備及び手続	0				
			2,257		2,257		2,257				
			540		540		540				
予算(決算)額	合計		60,136	合計		63,183	合計		60,386	合計	60,386
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源	60,136		63,183		60,386		60,386		60,386	
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.6		0.6		0.6		0.6			
	正職員人件費	5,220		5,340		5,340		5,340			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	65,356		68,523		65,726		65,726				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	653.56千円/%		685.23千円/%								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
評価項目		事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	交通の安全性及び快適性の確保の為、街路灯の設置が必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) ■市が主導で進めることにより実効性が得られる ■市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要	
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策		実施状況	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		実績値(h)		対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善案及び展開方向				

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (675), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2022-2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 事業が必要である理由・背景, (2) 市が実施する必要性, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫, (7) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か?

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a row for '現状どおり推進' and a row for '評価コメント'.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	679	課コード	0601	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	道路境界の査定	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・道路課		
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.26人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	10,283千円	(うち人件費)	2,314千円		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	63202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	安全で快適に通行できるよう、道路用地と道路施設の適切な管理や効率的・効果的な維持補修を行います。			事業目的	市道に隣接する土地所有者が、市の土地との境界を明確にするために境界査定する。我孫子市が管理する公共基準点2000点のうち未変換の700点を世界測地2011に変換し、併せて台帳整理も行う。				
(3) 事業内容	内容	境界を確定するには、隣接地所有者の立会い求め同意が必要となります。また、事前に内部調査（他課）し関係者と打合せが必要となります。未変換の公共基準点を、世界測地2011に変換する。			当該年度執行計画	申請があった場合、随時境界確定の立会いを実施する。世界測地2011に変換するために既存の基準点の調査を行う。				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	官民境界を確定し不調・保留に至らないようにする。既存の基準点を調査して変換に向けた準備を行う。				直接	境界査定確定率 基準点調査率	%	0	100	
令和4年度	官民境界を確定し不調・保留に至らないようにする。令和3年度に実施した調査に基づいて1、2級の変換業務を実施する。				直接	境界査定確定率 基準点変換率	%		100	
令和5年度	官民境界を確定し不調・保留に至らないようにする。令和3年度に実施した調査に基づいて3級の変換業務を実施する。				直接	境界査定確定率 基準点変換率	%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応	境界の確定業務には専門的な知識・経験が必要				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	令和2年度		令和3年度			令和4年度		令和5年度		
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		道路区域確定委託料 材料費(道路境界石等) * 世界測地2011変換業務(検討・準備)	4,400 675 0		道路区域確定委託料 材料費(道路境界石等) * 【政策】世界測地2011変換業務(事前調)	4,400 869 2,700				
(9) 財源内訳	予算(決算)額	合計	5,075	合計	7,969	合計	40,269	合計	30,269	
	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	
	一般財源		5,075		7,969		40,269		30,269	
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.26		0.26		0.26		0.26	
	正職員人件費		2,262		2,314		2,314		2,314	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		7,337		10,283		42,583		32,583	
(11) 単位費用	事業費/活動結果指標		73.37千円/%	102.83千円/%						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	市有財産を適正に管理処分するためには、個々の私有財産の境界を明確にする必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる ■その他		<その他の内容> なし		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	0	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100			
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
△40.15									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
	0.97	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (680), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown by year (2020-2024).

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充) and a field for 評価コメント (Evaluation Comments).

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1550), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充).

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and expansion direction).

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1925), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, goals, and budget breakdown for fiscal year 2021.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria (necessity, participation, environment, efficiency) and a final summary table.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for improvement and future directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2157), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, budget, and implementation schedule.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns for current status and improvement directions.



事務事業評価表(令和3年度)

Header table with columns: 事業コード (2283), 課コード (0601), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, and implementation schedule.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向